平成27年　水道水質関連事故事例

事業名等	都道府県	発生日	水道の種別	施設概要（水源）	事故概要	事故原因	今後の対応	備考
宮崎市上下水道局	宮崎県	平成27年4月30日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過 （表流水）	原水の2-MIBが上昇したため、粉末活性炭を注入し対応していたものの、給水栓で基準値を超過した。 ホームページで市民に対して情報提供を行い、原水への粉末活性炭の注入率を強化した。 水源地の調査によると、繁茂した藻類が原因と考えられる。	取水口上流域のため池（藍藻類）	粉末活性炭の注入を強化	
静岡市上下水道局	静岡県	平成27年7月2日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過 （表流水）	水源地近くで起きた交通事故により燃料（軽油）が河川に流入した。 水道施設への流入防止対策を実施し、水道施設において、臭気検査、全有機炭素検査を行い異常がないことを確認した。 臭気への問い合わせはあったが、健康被害は発生していない。	交通事故により燃料（軽油）が河川へ流入	当該河川水を原水とする浄水場の処理工程水を排水し、水質検査（51項目）を行い異常がないことを確認	
航空自衛隊長沼分屯地	北海道	平成27年8月6日	専用水道	貯水槽 （浄水受水）	使用量の低下による貯水槽内での水道水の滞留が原因で、給水栓でpHの基準値8.6の超過および残留塩素の低下（0.1mg/L未満）が発生した。	使用量の低下による貯水槽内での滞留	1日1回、pH及び消毒の残留効果を確認し、異常が検出された場合は排水後使用する。 貯水槽の有効容量の見直しを検討する。	
福井市企業局	福井県	平成27年10月21日	簡易水道	塩素滅菌 （湧水）	採水用蛇口に昆虫が混入したことにより、当該蛇口で行った定期の水質検査において一般細菌が基準値を超過したため、一部世帯で2日間給水を停止した。 洗管等により虫を除去した後に給水を開始した。	採水用蛇口内に異物（昆虫）が混入したことによる異常値の検出	採水前に勢いよく水を出し、蛇口内部の異物を除いてから採水を行う。	
諸毛専用水道	広島県	平成27年11月18日	専用水道	凝集沈殿、急速ろ過 （ダム水、地下水）	発電所のメンテナンスにより取水をダム水から地下水へ切り替えたところ、定期の水質検査においてフッ素及びその化合物が基準値を超過したため、飲用を停止し、飲用水の配布を行った。ダム水の取水を再開後、基準への適合を確認した後に飲用を再開した。	ダム水から地下水への取水の切り替え	地下水を取水する際には、事前に水質検査を行う。次回のメンテナンス時期までに対応を検討中。	
立山町上水道	富山県	平成27年12月12日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過 （表流水）	水源地域周辺の豪雨により、水源に泥水が流れ込み、給水栓において基準値（ジェオスミン）を超過したため、洗管等により対応を行った。 ホームページで町民に対して情報提供を行った。	水源地域周辺の豪雨	水質検査の継続並びに粉末活性炭の備蓄及び使用マニュアルの整備	